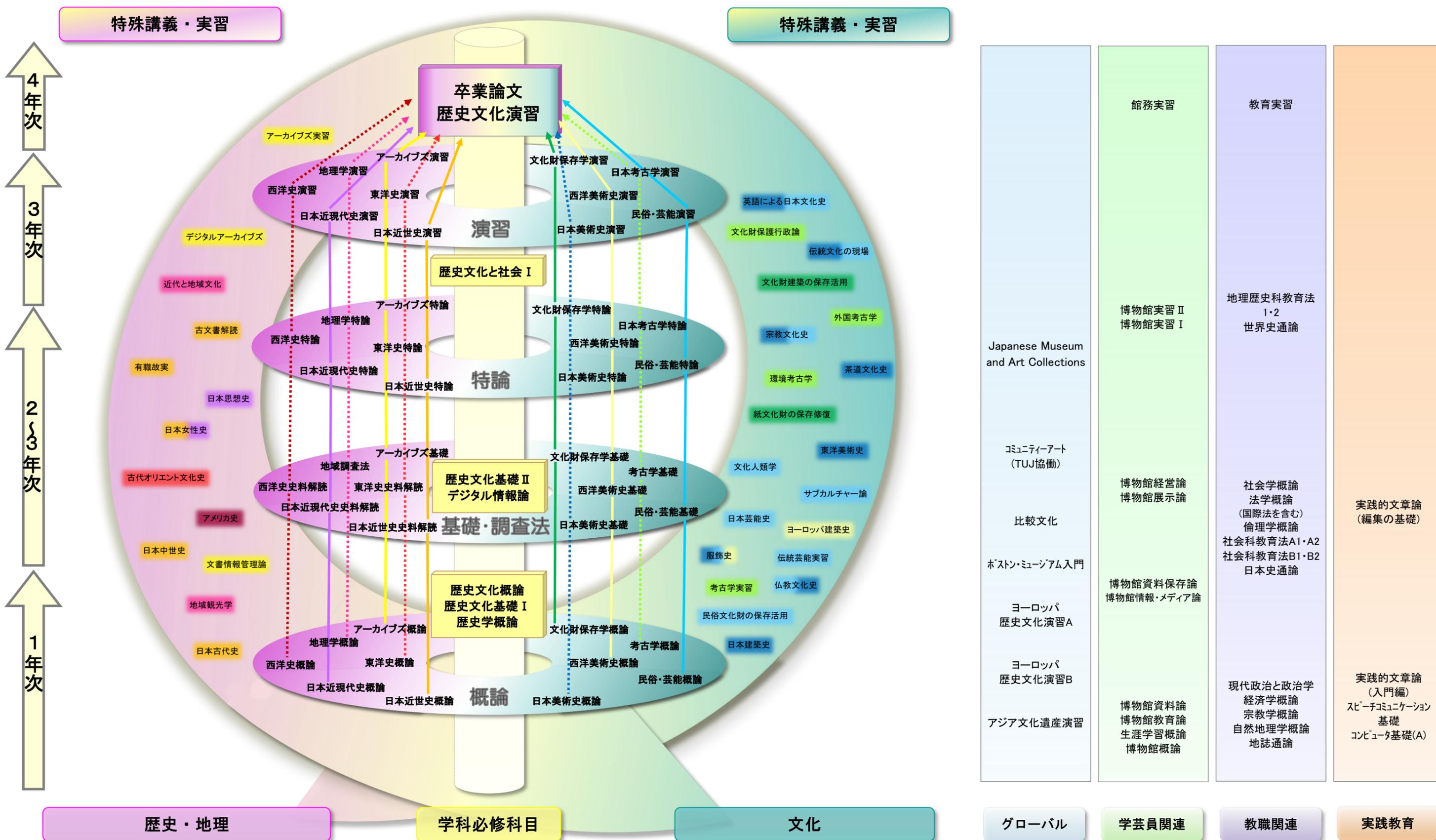


# 歴史文化学科 カリキュラムツリー

〔知識・技能〕		〔自主・自律〕		〔協調・調和〕	
<p>【DP1】人文学の幅広い教養と、歴史・文化の専門知識・技能を体系的に身に付け、歴史や文化的な課題に対する情報を適切に収集し、実証的・論理的に解析を行うことができる。</p>	<p>【DP2】国内外の歴史・文化について広い視野からの調査研究を行い、国際社会への理解を深め、自らの知見や提案を発信する能力を活かし、実社会に貢献できる。</p>	<p>【DP3】有形・無形の歴史的・文化的所産を史料として学ぶ中から、自ら課題を見出し、その解析方法を思考し、具体的な目標を設定することができる。</p>	<p>【DP4】自らが定めた目標と直面する様々な課題解決を目指し、情報収集に努め、多角的・理論的な思考と分析に継続して取り組むことができる。</p>	<p>【DP5】自己の能力と特性を理解し、国際社会の一員としての自覚と、他者の価値観を尊重できる思慮深さをもって、社会規範やルールに依拠して行動できる。</p>	<p>【DP6】異なる歴史・文化を背景とする人々との相互理解を深めるため、協働して文化財の調査研究・公開・活用を促進を図り、国際協力の推進と教育普及に寄与できる。</p>



4年次

3年次

2年次

1年次

特殊講義・実習

特殊講義・実習

卒業論文  
歴史文化演習

アーカイブズ実習  
地理学演習  
西洋史演習  
東洋史演習  
日本近現代史演習  
日本近世史演習  
文化財保存学演習  
日本考古学演習  
西洋美術史演習  
日本美術史演習  
民俗・芸能演習

歴史文化と社会 I

デジタルアーカイブズ  
近代と地域文化  
古文書解読  
有職故実  
日本思想史  
日本女性史  
アーカイブズ特論  
地理学特論  
西洋史特論  
東洋史特論  
日本近現代史特論  
日本近世史特論  
文化財保存学特論  
日本考古学特論  
西洋美術史特論  
日本美術史特論  
民俗・芸能特論

歴史文化基礎 II  
デジタル情報論

地域調査法  
西洋史史料解読  
東洋史史料解読  
日本近現代史史料解読  
日本近世史史料解読  
アーカイブズ基礎  
文化財保存学基礎  
考古学基礎  
西洋美術史基礎  
日本美術史基礎  
民俗・芸能基礎

歴史文化概論  
歴史文化基礎 I  
歴史学概論

地域観光学  
日本古代史  
文書情報管理論  
アメリカ史  
日本中世史  
アーカイブズ概論  
地理学概論  
西洋史概論  
東洋史概論  
日本近現代史概論  
日本近世史概論  
文化財保存学概論  
考古学概論  
西洋美術史概論  
日本美術史概論  
民俗・芸能概論

歴史文化と社会 II

英語による日本文化史  
文化財保護行政論  
伝統文化の現場  
文化財建築の保存活用  
外国考古学  
宗教文化史  
環境考古学  
茶道文化史  
紙文化財の保存修復  
東洋美術史  
文化人類学  
サブカルチャー論  
日本芸能史  
ヨーロッパ建築史  
服飾史  
伝統芸能実習  
考古学実習  
仏教文化史  
民俗文化財の保存活用  
日本建築史

Japanese Museum and Art Collections  コミュニティアート (TUJ協働)  比較文化  ホストン・ミュージアム入門  ヨーロッパ 歴史文化演習A  ヨーロッパ 歴史文化演習B  アジア文化遺産演習	館務実習  博物館実習 II 博物館実習 I  博物館経営論 博物館展示論  博物館資料保存論 博物館情報・メディア論	教育実習  地理歴史科教育法 1・2 世界史通論  社会学概論 法学概論 (国際法を含む) 倫理学概論 社会科教育法A1・A2 社会科教育法B1・B2 日本史通論  現代政治と政治学 経済学概論 宗教学概論 自然地理学概論 地誌通論	実践的文章論 (編集の基礎)  実践的文章論 (入門編) スピーチコミュニケーション基礎 コンピュータ基礎(A)
--	--	--	--

歴史・地理      学科必修科目      文化      グローバル      学芸員関連      教職関連      実践教育